

さて、十一時から午後三時まで闇が全地をおおつた。
三時ごろ、イエスは大声で叫ばれた。「エリ、エリ、レマ、サバクタニ。」これは、「わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになつたのですか」という意味である。

4つの福音書にイエス様が十字架で発した7つの言葉が記されます。マタイはそのうちのひとつを記しておりそれが冒頭の言葉です。

昔私が神学生だったとき、先輩がイエス様の十字架について語った説教が印象深く心に残っています。ゲッセマネの祈りでイエス様は願わくば十字架を避けたいと祈りました。それは十字架の肉体的な痛みや苦しみが怖かったからではなく、神との交わりが絶たれることを恐れたのだ、というのです。イエス様は私たちの罪を背負い罪人として死にました。それは神との断絶であ

り、それが罪人の末路で絶望以外のなにもあるなど、それこそが人間にとって最も恐ろしいことで、46節の言葉はその現れでもあります。しかし私たちはイエス様の十字架によって、そのような絶望から救われており、感謝しかありません。

ある説教者は著書で言います。『むしろ私たちはこの叫びに込められたイエス様の信仰を自分のものとさせていただきましょう。』ある説教者は著書で言います。『十字架にかけられ、もつとも大いなる試練の闇の中に見捨てられても、主イエスは『わが神、わが神』と祈られました。これは試練に打ち勝つ叫びです。』

神に見捨てられた、と思うときにも神に信頼したのがイエス様であり、それは私たちを信仰の道へと招く言葉であります。このとき闇が全地をおおいました(45)。ある註解書には、「闇」とは神の御業が現されるための準備であり前段階である、と解説されています。人の目には、光が失われた絶望的な状況と思えるとき、実はそれは神の救いが現される予兆だというのです。そこでなお「わが神、わが神」と叫ぶ人に神の救いが見いだされることを信じましょう。

イエス様の十字架を目撃したローマ軍の百人隊長は信仰告白をしています(54)。また、イエス様の十字架を担いだクレネ人シモン(32)はのちに信仰を持ち、子どもたちは初代教会の柱となつたと伝えられています。試練においても信仰に立ち続けるとき、主の栄光は周囲に現れるのです。(泰)

- ・病床の方々のためにお祈りください。
- ・ウクライナ支援献金に多くの方がご協力ください感謝です。

。

【本日の配布物】

- ・イースター献金趣意書
- ・4月聖務表

《沼津説教応援予定》

- | | |
|-------|----------------------|
| 4月24日 | 石田理事長 |
| 5月1日 | 荻野泰弘牧師 |
| 5月8日 | 林眞光修養生(7日子どもも集会から奉仕) |

